

第1回赤磐市上下水道事業審議会 議事要旨

開催日時	令和5年10月19日（金）午後2時～3時20分
開催場所	赤磐市消防本部3階大会議室
議事	(1) 赤磐市水道事業の概要について (2) 水道事業運営の基本原則について (3) 水道料金について (4) 財政収支の見通しについて (5) その他

○会長、副会長の選出について

会長に鳥越良光委員、副会長に佐藤豊信委員を選出

○諮問書の提出

市長から会長へ諮問を行う

【議事内容】

(1) 赤磐市水道事業の概要について

- 事務局から資料に基づき説明
- 質疑応答・意見等
特になし

(2) 水道事業運営の基本原則について

- 事務局から資料に基づき説明
- 質疑応答・意見等

〔委員〕

吉備中央町で有機フッ素化合物が国の規定以上に出ているとあった。赤磐の水はそういうことはないだろうと思うが、有機フッ素化合物は今のところ検出されていないのか。

〔事務局〕

その検査は年に1度となっている。基準値以内である。

〔委員〕

検査は、赤磐市も年に1回なのか。

〔事務局〕

年に1度である。この度は10月、11月に各地域で検査を予定している。

〔会長〕

公表は市民にわかるようになっているのか。

〔事務局〕

公表の仕方は、県の動向に合わせた形でやっていきたいと思っている。

〔会長〕

県が各市町村の公表をまとめてやるのか。

[事務局]

現在、県が各自治体の調査をしていると思う。それに合わせて詳細なことが決まってくると思う。

(3) 水道料金について

- 事務局から資料に基づき説明
- 質疑応答・意見等

[委員]

料金が高いところ、安いところがある。安いというのは行政が補助金を出しているからということなのか。送水量と送水施設のコストとの関係で違ってくるのか。

[事務局]

人口密度や受水の有無、水源の種別、浄水方法によって異なってくる。

[委員]

人口密度が高いところでは送水コストは安くつくと思われる。逆に過疎化しているところだと、全部水道管を引っ張らないといけないとなるとコストアップになるが、そういうわけでもないのか。

[事務局]

赤磐市も過疎地域があり、人口密度が低いことが一つの要因ではある。もう一つは、岡山県広域水道企業団から受水していることが要因で料金に反映されている。

(4) 財政収支の見通しについて

- 事務局から資料に基づき説明
- 質疑応答・意見等

[委員]

財政的に余裕があるから還元するという意味で値下げをするのは、一つの案として結構かと思う。将来的なことを考えたときに、還元するのか、それとも将来望ましい水道事業をするための投資として蓄積しておくのかという選択肢はあると思うが、検討されたのか。

[事務局]

資料5ページで、人口がまだ急激に減少する状況ではなく、収入が安定する期間がしばらくあると思っている。今回の提示も5年であり、そこから先、還元し続けていけるかは見通しが立たないが、5年であればと考えている。

[委員]

人口が減少した地域に、水道管を通し、維持管理しながら水を送り続けるというのはコストがかかる。水道事業として将来を見通した中、先行投資として人口減少が進みそうなどころに対しても今から手を打っておくのがいいのかどうか。そこをどのように判断され、今回の提案になっているのか。

[事務局]

19ページの下段、青色が管路更新事業である。今後、人口減少した地域にも水を送っていくが当然1人当たりの単価は上がっていく。この更新にどれだけ費用がかかるかというのはよく判断しないといけない。ここ数年は、青色で示している更新費用となっており、直近数年はこの更新費用ぐらいと思っている。10年後20

年後、もう少し更新費用が必要ということになれば次のステップとして更新費用が右に上がっていくことになる。ストックも必要だと思う。今のところは、現在の計画で今回の提案をさせていただいている。

[委員]

長期的な人口動態も考慮した上での水道事業を考えているということであれば結構だと思う。

[委員]

値下げは本当にありがたいが、心配なことがある。南海トラフによる大きな地震がきた場合、水道管が壊れて配水が困難になる。配水池の耐震診断や耐震化、水道管の更新も耐震化をしていると思うが、水道施設に大きな被害が出たときに、復旧させるための費用や赤磐市の水道施設は大丈夫なのか。

[事務局]

岡山は地盤がよく、さらに赤磐市は岡山市内より地盤がいいエリアではある。ただ、それなりの震度になると思うので、砂川沿いなどになると水道管に何らかの被害も出てくると思う。今の防災の観点で、今後大丈夫かと言われることに関しては、次回、説明させていただけたらと思う。

[委員]

リスクを100%避けることはできない。ではそれを99.9%までにするためのコストと、8割程度のコスト、そのリスク分はある程度やむを得ないと考えるのかは行政として判断いただく必要があると思う。

[会長]

まちづくりの理念の問題。水道料金を下げるとするのは、その理念の中の一つだと思う。いいまちにしたい一つの要因として、水道料金があるのではないかという提案だと思う。

[委員]

1人、2人でおられる高齢の方たちに対して支援を考えていただければと思う。

[委員]

岡山県の料金の平均からいくと赤磐市はやや高いところにある。市民とすれば若干でも値下げができればありがたいと思う。

[委員]

今後検討されていくが、値下げは市民としてはうれしいと思う。
有機フッ素化合物のことだが、浄水して供給していても出るんだなと思った。こちらの水は今のところ大丈夫ということで安心しているが気になった。

[事務局]

浄化した水をそれぞれのお宅には届けるが、常時監視になっているわけではない。項目によって検査の頻度が違うが、常時ではないのでその間に出ていったものがすり抜けてしまう可能性がある。経験則を積みながら、今回のものについては年に1回の検査をしていたが、今回発生した。こういうことが度々になると基準自体が変わり、もっと頻度を上げないといけないということになる。

[委員]

浄水場の耐震化は考えているのか。

[事務局]

浄水場や配水管路の耐震化については、皆様に安全安心な水を送ることができるよう検討していく。

(5) その他

次回審議会日程について事務局から説明